

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------|--------------------|
| 製品名 | : ソルバイン CH |
| 化学品の名称 | : 塩化ビニル・酢酸ビニル系共重合物 |
| 供給者の会社名称 | : 日信化学工業株式会社 |
| 郵便番号 | : 915-0802 |
| 住所 | : 福井県越前市北府 2-17-33 |
| 電話番号 | : 0778-22-5100 |
| FAX 番号 | : 0778-24-0657 |
| 担当部門 | : 環境品質管理部品質保証 G |
| 電話番号 | : (0778) 22-9998 |
| FAX 番号 | : (0778) 22-9998 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|--------|----------------------------|
| 物理的危険性 | : 爆発物 分類できない |
| | : 可燃性又は引火性ガス 分類対象外 |
| | : エアゾール 分類できない |
| | : 支燃性又は酸化性ガス類 分類対象外 |
| | : 高压ガス 分類対象外 |
| | : 引火性液体 分類対象外 |
| | : 可燃性固体 分類できない |
| | : 自己反応性化学品 分類できない |
| | : 自然発火性液体 分類対象外 |
| | : 自然発火性固体 分類できない |
| | : 自己発熱性化学品 分類できない |
| | : 水反応可燃性化学品 分類できない |
| | : 酸化性液体 分類対象外 |
| | : 酸化性固体 分類できない |
| | : 有機過酸化物 分類できない |
| | : 金属腐食性物質 分類できない |
| 健康有害性 | : 急性毒性(経口) 分類できない |
| | : 急性毒性(経皮) 分類できない |
| | : 急性毒性(吸入: 気体) 分類できない |
| | : 急性毒性(吸入: 蒸気) 分類対象外 |
| | : 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) 分類できない |
| | : 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 分類できない |
| | : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 分類できない |
| | : 呼吸器感作性 分類できない |
| | : 皮膚感作性 分類できない |
| | : 生殖細胞変異原性 分類できない |
| | : 発がん性 分類できない |

- ： 生殖毒性 分類できない
- ： 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない
- ： 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
- ： 吸引性呼吸器有害性 分類できない
- 環境有害性
 - ： 水生環境有害性(急性) 分類できない
 - ： 水生環境有害性(長期間) 分類できない
 - ： オゾン層への有害性 分類できない
- [安全対策]
 - ： 保護手袋, 保護衣, 保護眼鏡, 保護面を着用すること。(P280)
- [保管]
 - ： 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。(P410+P403)
- [廃棄]
 - ： 内容物/容器を国際, 国, 都道府県, 市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)
- 分類に関与しないその他の危険有害性
 - ： 取り扱い中に、引火/爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある
 - ： 取り扱い中に静電気を発生する可能性がある

3. 組成及び成分情報

一般名 : 塩化ビニル・酢酸ビニル系共重合物

| 名称 | 濃度 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|------------------|--------|----------|-------|----------|
| | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| 塩化ビニル・酢酸ビニル系共重合物 | >= 97% | 登録済 | 既存 | 登録済 |
| 酢酸ビニル | < 1% | (2)-728 | 既存 | 108-05-4 |
| メタノール | < 1% | (2)-201 | 既存 | 67-56-1 |

4. 応急措置

- 応急措置 一般
 - ： 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合
 - ： 直ちに新鮮な空気の場所へ移動し、呼吸のし易い姿勢で休息させる。
- 皮膚に付着した場合
 - ： 多量の水で洗うこと。
- 眼に入った場合
 - ： 直ちに大量の水でまぶたの内側を20分以上洗い流すこと。コンタクトレンズを外せる場合は外す。医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合
 - ： 水で口の中をよくすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適した消火剤
 - ： 水, 粉末消火剤, 粉末消火器, 強化液
- 特有の危険有害性
 - ： 燃焼時に塩化水素、一酸化炭素等を発生する恐れがある。
- 爆発の危険
 - ： 取り扱い中に、引火/爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある。
- 火災時の危険有害性分解生成物
 - ： 火災時の危険有害な分解生成物としては、塩化水素ガス、塩素化炭素、一酸化炭素、二酸化炭素、残留炭化水素等が発生する可能性がある。
- 消火方法
 - ： 延焼の恐れのないように水スプレーで周囲を冷却する。
- 消火を行う者の保護
 - ： 適切な保護具を着用し直接接触を避ける。消火作業は風上から行う。
- 消火時の保護具
 - ： 適切な保護具と空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的な措置
 - ： 保護手袋, 保護眼鏡を着用し、掃き取り回収し処理業者に委託処理する。

- 保護具 : 眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
 - 応急処置 : 全ての着火源を速やかに取り除く。
 - 粉じん発生時の措置 : 吸引を避けるため、防塵マスク等を使用
粉じん, 煙, ガス, ミスト, 蒸気, スプレー の吸入を避けること。
 - 保護具 : 眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
 - 応急処置 : 全ての着火源を速やかに取り除く
風上から作業する。
 - 環境に対する注意事項 : 速やかに回収し拡散防止に努める。
- 封じ込め及び浄化方法及び機材**
- 封じ込め方法 : 少量の場合、乾燥砂、土、おがくずなどで覆い、シャベル、箒でかき集め密閉できる容器に回収する。
 - 浄化方法 : 回収後、漏出場所周辺を水で洗浄し、その汚染水も回収する。
 - 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消化剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
 - その他の情報 : こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 静電気対策を講じること
粉が拡散しないよう局所排気を設けた場所で取り扱うこと。
- 安全取扱注意事項 : 取り扱い中に、引火/爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある
取り扱い中に静電気を発生する可能性がある。
- 接触回避 : 眼、皮膚への接触を防止するため、保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
- 衛生対策 : 作業が終わった時、飲食、トイレ、喫煙前には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 冷暗所に保管する。
- 技術的対策 : 日光を遮断して、換気の良い場所で保管すること
開封した使用中の包装容器に、ゴミ、水等が入らないようにする。
- 安全な容器包装材料 : 紙袋は水濡れ等により強度低下するので濡らさないこと。
- 混触禁止物質 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

| 名称 | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会) | 許容濃度(ACGIH) |
|-------|--------|-------------------------|----------------------------------|
| 酢酸ビニル | | | TWA 10 ppm, STEL 15 ppm |
| メタノール | 200ppm | 200ppm(260mg/m3) (皮) | TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin) |

- 設備対策 : 直接の接触を避けるため、取り扱い場所に局所排気装置を設置する
取り扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。
- 呼吸用保護具 : 吸引を避けるため、防塵マスク等を使用
- 手の保護具 : 保護手袋着用
- 眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、長袖作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------------------------|---|
| 物理的状态 | : 固体 |
| 外觀 | : 粉体 |
| 色 | : 白色 |
| 臭い | : 無臭 |
| 融点 | : データなし |
| 引火点 | : なし |
| 燃焼性 (固体、気体) | : 酸素指数 34%で通常の空気中では燃焼は継続しない |
| 爆発範囲 (上限、下限) (g/m ³) | : データなし |
| 爆発限界 (vol %) | : データなし |
| 比重 | : $\approx 1.4 \text{ g/cm}^3$ (相対密度) |
| 溶解度 | : 水に対して不溶 ケトン・エステル・ニトロベンゼン等 易溶 鉱油・アルコール等 不溶 |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 密度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | : 水との反応性なし |
| 化学的安定性 | : 室温では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 爆発性の空気混合ダストを作る可能性がある 火災等で高温にさらされると、分解により塩化水素を発生する。 |
| 避けるべき条件 | : 静電気を帯びやすいので注意が必要, 高温は劣化を促進するので避ける |
| 混触危険物質 | : 特に無し |
| 危険有害な分解生成物 | : 火災時の危険有害な分解生成物としては、塩化水素ガス、塩素化炭素、一酸化炭素、二酸化炭素、残留炭化水素等が発生する可能性がある。 |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|---------|
| 急性毒性 (経口) | : データなし |
| 急性毒性 (経皮) | : データなし |
| 急性毒性 (吸入:粉末) | : データなし |
| 急性毒性 (吸入:ミスト) | : データなし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷又は刺激性 | : データなし |
| 皮膚感作性 | : データなし |
| 呼吸器感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | : データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|--------------|---------|
| 水生環境有害性 (急性) | : データなし |
|--------------|---------|

| | |
|---------------|---|
| 水生環境有害性(長期間) | : データなし |
| 生態毒性 | : データなし |
| 魚毒性/その他 | : データなし |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 化学的酸素要求量(COD) | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : データなし |
| オゾン層への有害性 | : データなし |
| その他の情報 | : この製品を廃水や水流、そして土壤に流さないこと。環境への放出を避けること。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 推奨廃棄方法 | : 内容物/容器を国際, 国, 都道府県, 市町村の規則に従って廃棄すること。 |
| 廃棄方法 | : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。 |
| 残余廃棄物 | : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。 |
| 汚染容器及び包装 | : 内容物や包装材料の処理は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄処理業者に委託すること。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------|--|
| 国際規制 | |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国連分類 (UN) | : 非該当 |
| 国内規制 | |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 国連分類 (UN) | : 非該当 |
| その他の情報 | : 輸送に際しては包装に漏れないことを確かめ、破袋、落下、損傷等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、 “7 取扱い及び保管上の注意”の記載にも注意する。 |

15. 適用法令

| | |
|---------|---|
| 化審法 | : 規制されていない |
| 労働安全衛生法 | : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9） 酢酸ビニル（政令番号：180）（<1%） メタノール（政令番号：560）（<1%） |
| 消防法 | : 規制されていない |
| 海洋汚染防止法 | : 規制されていない |
| 船舶安全法 | : 規制されていない |

- 航空法 : 規制されていない
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） : 規制されていない

16. その他の情報

- 参考文献 : 引用文献 1. 原料メーカーの「安全データシート」 2. GHS第4版
3. 物質および混合物の分類、表示および包装（CLP）に関する欧州議会および理事会規則（EC）No.1272/2008 付属書VI
- その他の情報 : 本製品は一般工業向けに開発されたものです。特殊な用途へのご使用に際しては、貴社にて安全性をご確認の上ご使用下さい。本品のご使用またはお取扱いに際しましては、事前に本SDSにより、製品を取扱う全ての人々に対して、本SDSの情報及びその他の安全・災害に関わる情報の周知徹底をお願いいたします。記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものでは有りません